

みどり通信



第3号

発行:地域創生課

次の提案①～④をもとに、3つのグループに分かれ、話し合いました。

提案①YORU(夜)の学校

「負担のない活動でいうと取組みやすい」

提案②ちよつと御用聞き

「すぐには難しいが、買物支援から初めて、何でも屋さん、困り事相談のような御用聞きにつなげれば、事業展開としては面白い」

「買物支援だけでなく、自宅の電球を変えるような、ちよつとした支援の取組はどうか」

「買物支援はお金が発生するので難しい」

提案③防災訓練

「3月11日の東日本大震災、1月1日の能登半島地震もあり、関心が高いから防災訓練をしてはどうか」

「防災訓練を1回実施すれば、避難のやり方を考えるきっかけになる」

「災害時のトイレ問題。簡易トイレの使い方」

方

「災害時にスマホが使えない場合も想定して情報伝達手段が必要」

「運動会の朝に防災訓練をしたらどうか」

「お昼は非常食を食べてもいい」

「訓練を実施することでみんなが集まり、会話や交流が生まれる。参加しやすい防災訓練をしてはどうか」

提案④ホタルの川づくり

「川清掃も防災・減災になる」

「川清掃は6月中旬が良いのではないか」

「翠小の子どもたちがガードレール清掃にあわせてヨシの清掃はどうか」

「ヨシの処分はどうする」

その他

「せっかくなら、季節ごとに提案を全部やってみたらどうか」

「最初は負担の少ない活動するのが理想的」

《今年度の取組を振り返って》

今年度は初めての取組として、小学生以上の翠地区全住民を対象とした集落実態調査の実施とともに、3回の意見交換会を実施しました。

意見交換を重ねるごとに、参加者の皆さんの意識が「課題を少しでも解決していこう」「翠地区をもっとよくしていこう」というように高まってきたと思います。

次年度は、翠地区の未来を一人ひとりが自分ごととして考えるきっかけとして、話し合いで出た意見や思いを少しずつ、形にしたいと考えています。

まずは今回の意見の中で賛同が多かった『防災訓練』と『ホタルの川づくり』を中心に、次回から具体的に話し合っていくことにしています。



3月13日(水)、翠小学校ランチルームで、これからの翠地区をみんなで考えるための意見交換会を開催しました。

地域住民・集落支援員・市職員・地域おこし協力隊の計22人が参加して、『まずはやってみよう!』

をテーマに意見を出し合いました。

これまでの意見交換で出た 意見に対する行政の取組等

『夜が暗い』

「防犯灯設置費補助金」があり、広報区が申請・設置する場合は75%（上限1万5千円）を補助する制度があります。

『野生動物の出没』

J Aの実施する電気柵やワイヤーメッシュ柵の購入に半額が補助されることや、イノシシなどの有害鳥獣について、令和4年度、双海地区の捕獲実績が474頭でした。

『耕作放棄地・所有者不明の田畑』

農地の復旧について、えひめ農林漁業振興機構の遊休農地解消緊急対策事業で10アール43000円の支援金を活用できる場合があります。



■耕作放棄地の面積

地区	筆数	面積(ha)
市全体	19,900	2,075
双海地区	8,077	763

■翠地区周辺の避難所

施設名	地震	津波	高潮	洪水	土砂
トレセン (双海地域事務所裏)	○	○	○	○	○
双海中学校	○	○	○	○	×
翠小学校	○	○	○	○	×
双海夕なぎ荘	福祉避難所				
長沢体育館	×	○	○	○	○

『光ファイバー・光テレビ』

令和6年12月に双海地区全域がエリアになります。また、スマホ教室などは随時実施予定です。



『廃屋の撤去』

老朽危険空き家除却事業補助金除却工費の4〜5以内で上限80万円の制度があります。また、令和4年度は12件8731000円の実績がありました。

『避難所はどこ？』

中山町佐礼谷のコーヒーのテイクアウトと豆を販売している炭田家のティピカくんと、地域おこし協力隊の玉ちゃん。おとなしいティピカくんは、地域の人気者。内子町にはかわいいヤギがいる牧場があるそうです。



〈第4回 翠地区意見交換会〉

翠地区に関係のある方はだれでも参加できます。(オンライン可)

翠地区を少しでも住みやすい地域にするため、対話しながら小さな活動をまずはやってみようという会です。

参加希望者はお気軽にご連絡ください。

■日時 令和6年4月24日(水)18:30〜

■場所 翠小学校ランチルーム

■申し込み

☎089-986-1111

(集落支援員：森田)

✉chikisousei@city.iyo.lg.jp